

2013年度からはじまった当企画  
ついに再開します!!  
新しい考古学の扉をひらく!?

秋山浩三 (学芸顧問)  
三好 玄 & (学芸総括)  
コーディネーター

# 若き考古学徒、 論壇デビュー!

9th チャレンジ

考古学の未来を担う研究者のタマゴ達が、目々の研鑽の成果と熱い想いを携えて、弥生博の論壇に向かいます。そんな彼らを一緒に応援し、新しい考古学研究の風を感じてみませんか? 今回も、大阪府内から選抜された学生たちが果敢に挑みます!

## 第1回 2024年3月2日(土)

(大阪大学大学院 / 人文学研究科日本学専攻基盤日本学コース考古学講座 博士前期課程1年次生)

近藤 葵 「大阪府野中古墳出土須恵器の基礎的検討」

(近畿大学 / 文芸学部文化・歴史学科 4年次生)

大山智百香 「古代日本人における髪・櫛への思想」

(近畿大学大学院 / 総合文化研究科文化・社会学専攻 修士課程2年次生)

古閑公平 「古代エジプト第3中間期から後期王朝時代の  
土地寄進について：奉献碑からの考察」

## 第2回 2024年3月16日(土)

(大阪大学 / 文学部人文学科 4年次生)

松岡寿々代 「弥生・古墳時代の畿内における焼失住居」

(大阪市立大学 / 文学部哲学歴史学専攻日本史コース 4年次生)

木村祐熙 「葛城地域の円筒埴輪からみた大型古墳群間の相互関係」

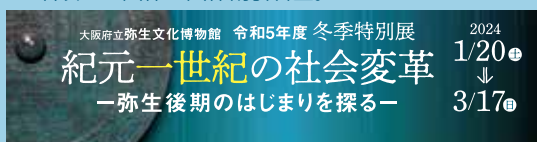
(関西大学大学院 / 文学研究科人文学科考古学専修 博士課程前期2年次生)

中村真里絵 「古代日本における舍利信仰の受容形態に関する考察  
— 舍利埋納方法に着眼して —」

時間：13時～16時30分 (各回とも12時30分から受付)  
定員：130名 (当日先着順) 聴講料：無料 (要入館料)  
入館料：一般650円、高大生・65歳以上450円

同料金で冬季特別展「紀元一世紀の社会変革—弥生後期のはじまりをさぐる—」をご覧ください。

※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料。  
20名以上の団体は団体割引料金。



ACCESS

JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約600m  
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m  
【大阪方面からお越しの場合】  
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(あとり)駅で普通電車にお乗換えください。  
大阪駅からお越しの場合は、「関西・紀州路快速」をご利用になると便利です。  
鳳から3駅目が信太山(のけり)駅です。

国道26号「池上町」交差点南西角  
P普通車72台(無料)  
車いす利用と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture  
指定管理者：□□□□  
大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162  
□□□□□□□□□□□□

